



平成30年 1月7日(日)

12:00開演(11:00開場)

### 十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円(25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。  
お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催:公益財団法人 十四世六平太記念財団

協力:喜多流職分会

後援:品川区、品川区教育委員会

助成:文化庁(平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業)



# 喜多流自主公演

平成三十年一月

国 巴

栖

栗谷 大村  
能夫 定

### チケット予約購入のご案内

#### インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>  
(24時間対応、要登録・無料)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

##### ② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

#### 電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

##### ① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

##### ② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

##### ③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

#### 窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813  
(午前10:00～午後6:00 休館日あり)

#### 【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。  
ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

### ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

### 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
  - ・追加料金はかかりません。
  - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
  - ・年間優待券のみでの観能はできません。
  - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月～3月)の喜多流自主公演のみ有効です。青年能には使用できません。

### 自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階後席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

### 会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。  
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

能

後シテ巴の霊  
前シテ里女 大村 定

### 巴

ワキ旅僧 宝生欣哉  
ワキツレ従僧 則久英志  
ワキツレ従僧 御厨誠吾

大鼓 柿原光博  
小鼓 田邊恭資 笛 寺井久八郎

アイ・栗津の里人 山本泰太郎

後見 塩津哲生  
友枝雄人

地謡 友枝雄太郎 高林呻二  
栗谷浩之 中村邦生  
栗谷充雄 出雲康雅  
友枝真也 長島 茂

狂言

### 鬼瓦

シテ大名 山本東次郎

アト太郎冠者 山本凜太郎

休憩(二十分)

仕舞

### 羽衣

キリ

友枝昭世

地謡 高林昌司  
谷 大作  
香川靖嗣  
金子敬一郎

能

シテ連天女 佐藤 陽  
子方・浄見原天皇 大島伊織  
シテ連姥 内田成信  
後シテ蔵王権現 栗谷能夫  
前シテ老人

### 国栖

ワキ供奉臣下 森 常好  
ワキツレ與昇 館田善博  
ワキツレ與昇 森 常太郎  
アイ・追手 山本則重  
アイ・追手 山本則秀

大鼓 佃 良勝 太鼓 観世元伯  
小鼓 鵜澤洋太郎 笛 藤田貴寛

後見 内田安信  
狩野了一

地謡 狩野祐一 佐々木多門  
佐藤寛泰 金子敬一郎  
塩津圭介 栗谷明生  
谷 友矩 大島輝久

### 巴(ともえ)

信濃の国、木曾の僧が、栗津が原で休んでいると社の前で泣いている女がいた。声をかけると、ここは木曾義仲を祭った社で、同郷であれば霊を弔うように勧めて消え去る。《中人》そして僧が弔っている甲冑姿の女武者が現れて、義仲に仕えていた巴御前の霊であると明かし、栗津が原の合戦について語る。特に義仲の最期において、巴御前が義仲とともに自害を決意するが、後を追うことは許されず形見を木曾へ届けるように託されたことを物語り、なお弔いを願って消え去るのだった。

(約八十分)

### 鬼瓦(おにがわら)

訴訟事ながら都に居た大名が、ついに国へ帰ることになった。その為在京中に信仰をしていた因幡堂の薬師如来へ御礼と暇乞いのために太郎冠者を連れて出掛ける。そして大名はこの薬師を国もとへ勧請したいと思ってお堂の様子を見て回っていた。すると破風の上にある鬼瓦が目に残る。鬼のいかつい顔を眺めるうちに国もとに残して来た妻に似ていると気づき、懐かしさのあまりに泣き出ししてしまう。太郎冠者はまもなく国へ帰って妻に会えるのだからと云って慰める、気を取り直した大名と太郎冠者は大笑いして帰るのだった。

(約十五分)

### 国栖(くず)

浄見原天皇が大友皇子に襲われて吉野の奥にこもっていた。丁度その頃、川船に乗っていた老夫婦は自宅の辺りの雲間に紫雲が棚引くのを見つけた。天子が居るところに紫雲が立つということから急いで自宅に帰る。自宅には天皇と臣下が居て、臣下は老夫婦に、大友皇子に襲われここまで来た事情を話し、何か召し上がるものを差し上げるように頼む。そこで、根芹と国栖魚(鮎のこと)を供御に供し、下賜された半身の国栖魚を翁は吉凶を占うために吉野川に放った。すると国栖魚は生き返ったので再び都へ還幸になるとよる。そこへ追手がくる。老夫婦は浄見原天皇を裏返した船の下に隠し、追手に対し語気を荒げて言葉返し、追い返した。天皇はその忠誠に感動して謝辞を述べる。夜が更けると天女が現れ五節の舞を舞う。やがて蔵王権現も現れて天皇の御代を寿ぐのだった。

(約七十五分)

### 平成三十年 二月 自主公演番組予告

平成三十年二月二十五日(日) 正午始  
十四世喜多六平太記念能楽堂

俊成忠度 松井 彬

采女 塩津圭介

土蜘蛛 金子敬一郎